

第3回（仮称）小網代大橋 有識者合同ヒアリング

議事録

日 時：2025年3月19日（水）10:00～11:30

場 所：かながわ県民センター304 会議室

（横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター 3F）

出席者

所属等			氏名（敬称略）
構 成 員	有識者	東京農業大学名誉教授	中村 幸人
		東京科学大学教授	真田 純子
	行政職員	神奈川県県土整備局 横須賀土木事務所長	竹内 章裕
		神奈川県県土整備局 道路整備課長	神永 裕一
		三浦市都市環境部長	堀越 修一
随行者	神奈川県県土整備局 道路整備課		平尾 淳 西村 卓郎 渡部 智貴
	三浦市都市環境部		河津 智則
事務局	神奈川県県土整備局 横須賀土木事務所	工務部長	石川 謙作
		工務部道路都市課長	小森 慶
		工務部道路都市課	宮入 拓也 河上 守

【議事要旨】

動物の保全について（中村先生）

- 米軍池子住宅での調査も含めて、あのあたりでは複数種のコウモリの生息が確認されている。今回の対象域では、一部改変はあるが、塹壕は残るので、生息にも問題ないという事で良いか。
 - そのとおり。（事務局）

環境保全措置について（中村先生）

- ナギランは、見つかっていないが、万一、見つかった場合は、最善の措置を講じてもらいたい。
- エビネは、多少暗いところでも生育できるので、比較的、保全し易いと思う。
- キンランは、移殖後、腐生菌（腐った堆肥などから発生する菌）ではなく、外生菌根との共生ができず、消えていく場合があるので、ブナ科の植物の根っこにある共生菌とうまくくっ付くことができるよう、コナラなどと一緒に移植すると良い。

照明灯について（中村先生）

- 光は、鳥や昆虫にとって大きな影響を与えると思うので、調光できるLED照明を採用したことについて評価している。

橋梁の美観について（中村先生）

- 機能美がうまく表現されていると思う。橋は、快適な生活の象徴で、森は豊かな生活の象徴であり、森から橋が出てくるというのは、調和のとれた景観になっていると思う。

検討結果の説明内容について（真田先生）

- よくまとまっており、これがWEBで公開されれば、大変勉強になると思う。そうした視点で考えたときに、桁について「逆八の字状の斜めにすることで、優れた美観と経済性を両立した」と記載しているが、なぜそうなるのかが伝わりづらいと思うので、もう少し説明した方が良いと思う。さらに、橋脚の幅を桁まで一定にしていることや、市道に近接する橋脚をセットバックして見通しを確保したことについても、記載した方が良いと思う。

散策路のイメージについて（中村先生）

- 半島上の利活用に、散策路のイメージ写真が掲載されているが、私のイメージは、鬱蒼とした照葉樹林の中で、森の中の散策路というものだった。照葉樹林のイメージで一番近いのは伊勢神宮で、この近くでは神武寺となる。

環境影響評価について（三浦市）

○ 自動車の走行の騒音は、環境基準値に対してあまり余裕がないようだがどうか。また、仮に、想定よりも交通量が増えるなどして、環境基準値を超過してしまった場合は、どのような対策が考えられるか。

➤ 環境基準に対する余裕が2 dB だが、これは想定している交通量から6割増加しても基準値以下に収まるので、環境基準を超過する恐れは少ないと思う。万一、環境基準を超過した場合には、騒音を低減するための対策工を実施していくが、一例として、排水性舗装を施工することにより2～3 dB の騒音低減効果が期待できる。（事務局）

以上